

医師は語る



医療法人社団健翔会
堀口医院 理事長
堀口 裕 先生

ご挨拶

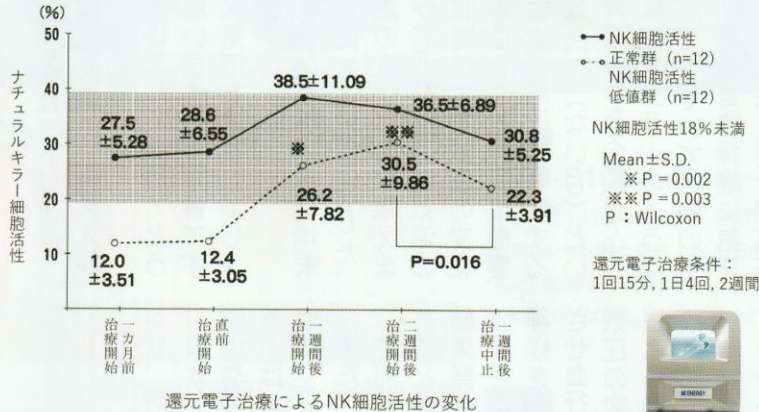
皆様、お元気でお過ごしですか。本年もよろしくお願い致します。

人生の中で何が大事と言いましても、健康ほど大事なものはありません。健康であれば、人生はとても楽しいものになります。さて、この二年間は新型コロナウイルス感染症に悩まされていますが、ここを乗り越えるためには盤石な免疫力を必要とします。免疫の柱は単球とリンパ球ですが、とりわけリンパ球の仲間であるNK細胞の働きがより重要になります。今年も還元電子治療を続けられ、しっかりと免疫力を高めてください。

平生からNK細胞を元気に

もともと還元電子治療は免疫力の向上を目的につくられました。とりわけ免疫の最前線で、手当たり次第がん化細胞やウイルス感染細胞を排除するNK(ナチュラルキラー)細胞を元気にするために開発されました。丁度二年前から新型コロナウイルス感染症が蔓延し、私たちの日常

生活は大きく変わりました。お陰様でワクチンを打つようになってから、少しずつ下火になってきました。このワクチンの場合、体内に抗体というものをつくらせてウイルスの侵入を阻止します。でもNK細胞の力が弱いと、ワクチンを打つ前にウイルスが沢山増殖して命を落とすこともあります。したがって平生からNK細胞を元気にしておくことが重要です。



堀口 裕
ナチュラルキラー (NK)細胞活性低地群に対するマイナスイオン療法の効果の検討
全国マイナスイオン医学会誌Vol.2 No.1 1998



NK細胞を丈夫にするポイント

還元電子治療はNK細胞の力、数ともに増やすのですが、その仕組みは四つ考えられます。

一つめは自律神経バランスを整えることです。NK細胞は自律神経の影響を受けていますが、交感神経の過度の緊張は、NK細胞の力を落とします。還元電子治療は交感神経の過度の緊張を抑制します。

二つめは体の末端の血行をよくします。そのためNK細胞の循環もよくなります。つまりNK細胞がパトリールし易くなりますので、力を発揮しやすいです。

三つめは筋肉の凝りの原因物質である乳酸を中和します。実はNK細胞は乳酸にとても弱いのです。

四つめはNK細胞に直接に作用して、たとえばミトコンドリア膜電位を高めるなどして、その力強さを増強すると考えられます。

一年中NK細胞を丈夫に

還元電子治療は体に「電子」を与える治療です。したがって過不足なく適量の電子を与えることが治療効果の鍵になります。実は、冬になりますと、寒さと空気の乾燥で、治療器からの電子の出が少なくなることがあります。相手が自然のことなので仕方ないのですが、これを改善する方法がやっと見つけられました。こ

web 講演 テーマ

New

将来に向けてのウイルス対策



<https://youtu.be/wcjuv-HYVvco>

自覚症状がなくても病気の根は生える！

病気が起こるには必ず病気の根があるはずです。ストレスや過労によって、私たちが生まれながらに持つ病気を防ぐ力強さが低下したとき病気の根が生えます。この病気の根を調べて病気の根を治療する医療を「根元の医療」といいます。「根元の医療」をライフワークとする医師 堀口裕先生のweb講演です。

これは治療器を直接担当されている方の発案です。冬でも十分に効果が期待できますので、是非関係先から情報をもらして下さい。

【堀口裕先生プロフィール】
北海道出身。川崎医科大学医学部卒業。一九九二年香川県坂出市で医療法人社団健翔会堀口医院を開院、現在は理事長兼院長を務める。長年に亘り、空気中のネガティブイオンに関する生理的作用を研究、独自に開発された細胞内検査と還元電子療法を駆使した「根元(ねもと)医療」という新しい医療を推進し、国内外で活躍している。